

2019年6月14日配信【No.8】 <<配信枚数 1枚>>

明治の文明開化の息吹！！ 150年前の陸蒸気を再現
ダンボールで蘇る「一号機関車」
梅田キャンパス1階ギャラリーで展示

大阪工業大学（学長：西村泰志）は、7月3日～8月26日に梅田キャンパス1階ギャラリーで、ダンボール工芸家の島英雄氏が手掛けるダンボールによる原寸S Lモデル「一号機関車」を展示します。

産業基盤を整えるために鉄道事業の早期導入を決議した明治政府が輸入した10台の蒸気機関車の1台で1871年英国からの輸出時に船積みされたときの付番が「1号」だったことから「一号機関車」と呼ばれるようになりました。新橋駅や大阪駅構内など各地で使用する過程で大幅に改造され、最終的には長崎県の島原鉄道で1933年まで走っていました。同鉄道が2016年に島氏に原寸模型の制作を委託したことから一号機関車再現プロジェクトが始動。2018年に「島原鉄道型」が、今年4月に改造前の「原型」が完成しました。



一号機関車の復元ダンボールモデル

同模型は、通常のダンボールを立体的に構成することで強度を高めて巨大なボディを構築します。その手法は島氏の建築構造の知見に基づく成果であり、組立過程とともにその構成を学ぶことが学生にとっての貴重な体験となることが期待できます。また、イノベティブなデザイン思考からダンボールモデルによる表現の可能性やダンボール素材による実用品の可能性について情報発信することを目的としています。なお、資材は九州ダンボールから無償提供いただきます。

つきましては、概要をお知らせしますので、事前告知や取材で取り上げていただきたくよろしくお願い致します。

.....【概要】.....

1. 組立日 : 2019年7月2日（火）17時30分～19時00分
19時00分から説明会を実施します。
2. 展示期間 : 2019年7月3日（水）～8月26日（月）
3. 展示場所 : 大阪工業大学 梅田キャンパスO I T梅田タワー（大阪市北区茶屋町1-45）
1階ギャラリー西側

■内容に関するお問い合わせ

大阪工業大学 空間デザイン学科 教授 福原和則

TEL : 06-6147-8748（不在の場合は広報室へ）／大阪市北区茶屋町1-45

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：田中、上田）TEL : 06-6954-4026